

4
14

動物愛護の新拠点

いしかわ動物愛護センター 開所



石川県が石川県森林公園内に整備を進めていた「いしかわ動物愛護センター」が完成し、その開所式が4月14日に行われました。

この施設では、飼い主がいない犬猫の保護や譲渡を主に行いますが、現在は、能登半島地震により飼育が困難になったペットの一時預かりや新しい飼い主へのあっせんも行っています。

式典では、馳石川県知事が「動物の譲渡に係る情報の発信や普及、動物愛護の推進に努め、広く来場してもらうための努力を重ねていく」とあいさつし、矢田町長は「動物愛護センターも含め、森林公園に多くの方が来場することを祈念します」と祝辞を述べました。式典後には見学会も開催され、各部屋の特徴などが説明されました。

施設は木造平屋建てで、延べ床面積は992㎡、最大収容頭数は犬30頭、猫70頭です。動物とふれ合い、相性を確認できる「マッチング室」や病気の検査、けがの治療などを行う「検査・処置室」、「手術室」などが備えられており、譲渡は既に開始されています。

また、7月下旬には面積2,000㎡の屋外ドッグランも完成する予定です。



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町の話をお伝えしていきます。

5

広報つばた

CONTENTS

- 02 まちのNEWS!
- 05 シグナスイベントチラシ
- 07 令和6年能登半島地震 生活再建支援情報
- 08 暮らしの情報
- 18 消費生活「SNS上の投資グループに注意!」
- 19 友だちリレー、Cook Do どう?
- 20 図書館へおいでよ
- 21 つばた空港、こども科学館
- 22 ケーブルテレビ番組表
- 23 赤ひげ通信、文芸
- 24 まちかど、QUIZ
- 25 慶弔だより
- 27 こどもの広場
- 29 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 31 イベントカレンダー

今月の表紙



河合谷のこいのぼり

今月の表紙は、下河合地内を流れる大海川に揚げられたこいのぼりです。

この催しは、河合谷公民館が主体となって大型連休の時期に行っています。家庭で不要になったこいのぼりなどが使われており、約90本のこいのぼりが訪れた人々を楽しませていました。

表紙左側の白いこいのぼりは、鱗が子どもたちの手形で描かれた「手形こいのぼり」で、力強さの中にも可愛らしさが見られました。

撮影日の4月20日は天気が良く、春の心地よい風に吹かれたこいのぼりが優雅に泳いでいました。

全てのこいのぼりが泳ぐ瞬間は壮大で、風に立ち向かう力強さを感じました。(北方)

3/24

破竹の勢いで4場所連続の2ケタ勝利

大の里関 3月場所で「敢闘賞・技能賞」獲得

大相撲3月場所が、3月10日から24日にわたって大阪府のエディオンアリーナ大阪で開催されました。西前頭五枚目の大の里関(おおのさと 本名:中村泰輝さん・庄出身・二所ノ関部屋所属)は、6人の三役と対戦し4勝をあげる快進撃をみせ、千秋楽まで優勝争いに加わる大活躍となりました。

惜しくも優勝は逃しましたが、2場所連続の11勝4敗という好成績を収め、2回目となる敢闘賞と初の技能賞を獲得しました。

5月場所は、5月12日から26日にかけて東京都の両国国技館で開催されます。



(写真提供) 津幡町大の里後援会

届け!! 地元のエール パブリックビューイング 開催



千秋楽にはパブリックビューイングが町役場で行われ、矢田町長をはじめ約120人が応援に駆け付けました。

先に尊富士関の優勝が決まった瞬間には残念がる声が上がりましたが、大の里関が登場すると会場は再び盛り上がり、うちわや「がんばれ!!大の里」と書かれたパネルを手に、大声援を送りました。

記念撮影もできます 大の里関 特別展示



1月・3月場所で獲得したトロフィーをシグナスロビーで展示しています。

また、津幡町大の里後援会から贈られた化粧まわしをつけた等身大パネルもあわせて設置されています。

4/7

早咲きの桜の下で開催

能瀬川公園桜まつり

第16回能瀬川公園桜まつりが4月7日に同公園で開催され、多くの人々が来場しました。

このまつりは、約800年前に承久の乱で破れた順徳上皇が佐渡に流される途中に英田地区に滞在したという言い伝えにちなんで、地区住民により開催されています。

当日は、順徳上皇に扮した住民のパレードから始まり、順徳上皇ゆかりの地を巡る謎解きウォークラリーのほか、バンド演奏や越中八尾おわら踊り、ミニゲームコーナーが催されました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で5月16日から放送予定です。



3/30 津幡中・津幡南中吹奏楽部合同演奏会 大迫力の演奏を披露

津幡中・津幡南中吹奏楽部による合同演奏会「スプリングコンサート」が3月30日にシグナスで開催され、約500人が来場しました。

第一部は各中学校ごとの演奏で、両校とも、2日前に参加した全国大会の疲れをみせない元気な音色を響かせました。ゲストの打楽器奏者、望月岳彦さんも各校と共演し、演奏に華を添えました。

後半は両校の生徒50人による合同演奏が行われました。望月さんも加わってポップスや行進曲などが演奏され、会場からは大きな拍手が送られました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で5月15日まで放送中です。

4/20 春めいた陽気の下、優しいハーモニー
ロビーコンサート

津幡町在住の音楽家3人で結成されたグループ「カンタ・マードレ」によるロビーコンサートが、4月20日にシグナスで開催され、約150人が訪れました。「おおブレネリ」や「見上げてごらん夜の星を」などの名曲やよく知られた曲を中心に、声楽二重奏とピアノによるハーモニーが披露され、優しく上品な音色がロビーに響きました。

また、合間には曲の説明や、出演者が主宰する音楽教室に通う子どもたちの演奏なども披露されました。1時間程度のミニコンサートながら充実したプログラムに、来場者からは惜しめない拍手が送られました。



4/13 皆で賑やかに楽しむコンサート
ガルちゃんトリトミック

5月の大型連休に行われる「ガルガンチュア音楽祭」に先立ち、キッズプログラムとなる「ガルちゃんトリトミック in つばた」が4月13日にシグナスで開催され、親子など約250人が来場しました。

この公演は、トリトミックコンサートとして行われ、来場者は曲に合わせて手を叩いたり、体を動かしたりして、体全体で音楽を楽しみました。

新平衣里さんの歌、谷口直美さんのトリトミック、沢芹菜さんのピアノにより、子どもたちによく知られている曲が披露されました。公式キャラクターのガルガンちゃんも場を盛り上げ、最後は子どもたちもステージにあがって楽しくフィナーレを迎えました。

4/20 学びと交流の場「町民大学」
町営バスで名所巡り

町民大学ふるさとつばた講座「路線バスでめぐる津幡」が4月20日に開講され、13人が参加しました。

今回は、普段あまりなじみのない町営バスを知る講座として企画され、実際にバスに乗車して目的地まで移動しました。清水にあるバス停から九折線に乗車し、竹橋で下車した後は町観光ボランティアガイド「津幡ふるさと探偵団」の山崎信子さんの解説を聞きながら、俱利伽羅塾周辺を散策しました。

参加者からは「何十年も津幡に住んでいるが、町営バスに乗るのは初めて」などの感想がありました。

町民大学では、今後も町の歴史や魅力を紹介する講座や時事に沿った講座などを開講する予定です。



4/17 厄除け念仏赤餅つき
赤餅で無病息災を願う

4月20日から29日にかけて開催される俱利伽羅さん八重桜まつりに先立ち、「厄除け念仏赤餅つき」が、4月17日に俱利伽羅不動寺山頂本堂で行われました。

この赤餅は、昔、旅人に悪さをする猿に赤く染めた餅を与えたところおとなしくなったという伝説に由来するもので、念仏を唱えながらついた赤餅には、疫災を追い払う力があるとされています。

俱利伽羅不動寺の五十嵐光峯住職が「懺悔・懺悔・六根清浄※」と唱えるなか、白装束姿のつき手が杵をふるい、赤餅をつきあげました。五十嵐住職は「元気の源となり、力強く歩いていけたらと思う」と願いを込めました。 ※執着を絶ち心身を清らかにするという意味